

域に対してボランティアの募集を行うなどして地域の力を一層学校の教育活動に生かす取組を進めています。今後は算数など教科教育にも積極的に地域の力を効果的に活用できるように進めて行く予定です。

(コーディネーターの葛野公平さんにお話を伺いました)

- 日程調整などで苦労するところもありますが、学校に行って子供たちとふれあうことで、子供の楽しそうな顔や地域の方々が喜んでいる姿を見るととてもうれしいですね。特に、外出したときに地域のどこであっても、子供が名指しで挨拶してくれるのはうれしいです。
- 学校は地域のコミュニティの拠点だと思います。子供の育成を学校と連携して関わることにより、子供の笑顔が地域にとっても元気の素となります。これから多くの人たちが学校の様々な活動に関わっていけるよう、コーディネーターとして活動を続けていきたいです。

2 杉並区立杉並第一小学校—「朝先生」は地域の先生です—

杉並区立杉並第一小学校(高田英雄校長)は、地域社会の教育力を学校の教育活動に積極的に生かす取組を行っています。

今回は、杉並第一小学校の学校支援の特徴の一つである「朝先生」の取組について紹介します。

「朝先生」は、先生方の職員朝会の時間に合わせて週2日(火・金曜日)の15分間行われています。12学級の全てに、年間を通じて地域のボランティアが担当の先生になって学習支援に関わっています。学習内容は、各学級担任の先生が用意した漢字や計算プリントへの取組や読み聞かせ、また、金曜日に全校で取り組む百人一首等があります。年間を通じてボランティアの先生と担任の先生との連絡調整をコーディネーターの伴野博美さんが行い、ボランティアの先生は、学校、学級の実態や教育方針等をよく理解した上で、担当学級の学習支援に当たっています。

この「朝先生」に関わるボランティアの方々は、町会等からの推薦やコーディネーターの伴野さんから声を掛けられた方々で、現在20名が登録されています。多くの方が、お仕事を辞められた後に生じた時間と御自身の経験を、学校のため、子供たちのために使おうという思いをもたれている方々です。中には、ビシッとスーツ姿で現れ、「朝先生」として子供たちに指導し、指導記録を記入してから出勤していかれる現役ビジネスマンの方もおられました。

終了後は、全員が集合して記録の作成やそれぞれのクラスでの活動の様子などの意見交換を行いながら、進捗状況や留意点の確認を行っています。



(高田校長先生にお話を伺いました)

- 「朝先生」を始めることで、まず、遅刻する子供が減りました。そして、第1校時目から落ち着いて授業を受けられるようになりました。さらに、担任以外の地域の大人との関わりが良い刺激となり、学習への興味関心に広がりが見られるようになりました。また、地域の中で挨拶できる子供が増えたことも喜ばしいことです。

この「朝先生」の取組の素晴らしいところの一つに、学校や児童だけではなく、ボランティアの方々へも良い効果をもたらしているとうことが挙げられます。

(「朝先生」のボランティアの方々にお話を伺いました)

- 子供たちから「先生」として迎えられる雰囲気が心地よく、毎日の生活に張りがでます。
- 子供たちの学ぶ姿勢に接していく気持ちが若返り、漢字検定やいろいろなことに挑戦する気力がわいてきました。
- 今の子供たちには、親でもない、教師でもない、地域の近い大人の存在が必要です。子供たちが我々を「地域の大人の先生」という目で見ていることが素晴らしいことだと思います。

「地域の力を最大限に引き出すのがこの取組の役割です。」とコーディネーターの伴野さんが話したように、学校と地域が自然体で関わり、その取組が双方にとって魅力あるものとなっているのが「朝先生」の特徴です。今、この杉並第一小学校への学校支援の輪がますます広がっています。

*「コーディネーター」は、学校と地域、企業・NPOなどの多様な社会資源をつなぎ、外部の講師やボランティアが効果的に子供たちの教育を支援できるよう、様々なコーディネート活動を行い、学校内外の教育活動をサポートする役割を果たしています。昨年度から始まった文部科学省による学校支援地域本部事業では、学校とボランティア、あるいはボランティア間の連絡調整などを行い、学校支援地域本部の実質的な運営を担う「コーディネーター」を、「地域コーディネーター」としています。この事業開始以前から独自に学校支援の取組を進めてきた地域においては、例えば「学校教育コーディネーター」「学校支援コーディネーター」などと呼称されている場合もあります。

【学校支援ボランティア推進協議会事業の問合せ先】

東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課地域支援係 電話 03-5320-6859 FAX 03-5388-1734